

**\* 小川誠治氏から古い雑誌の望遠鏡関係情報届く**

アーカイブ室新聞 276号 (2010年1月21日発行) に「古い雑誌など (科学画報、科学朝日など) の資料提供」という記事を書いた。この資料提供者は「渋谷星の会」の小川誠治氏である。それ以前にも小川氏からの資料提供でいくつかの記事を書いた。小川氏からこの度また古い雑誌の記事をいくつか提供された。

- 1) 子供の科学 昭和2年9月号
  - ・この号は「天体研究号」とあり、その表紙写真
  - ・天文学の母「天体望遠鏡の昔と今」五藤齊三氏の記事の中の26吋屈折望遠鏡写真
- 2) 科学画報 昭和4年9月号
  - ・この号は「宇宙及天体号」とあり、表紙に太陽塔望遠鏡の建物の完成予想図が載っていますが、ポツダムのアインシュタイン塔とそっくり描かれている(写真1)。

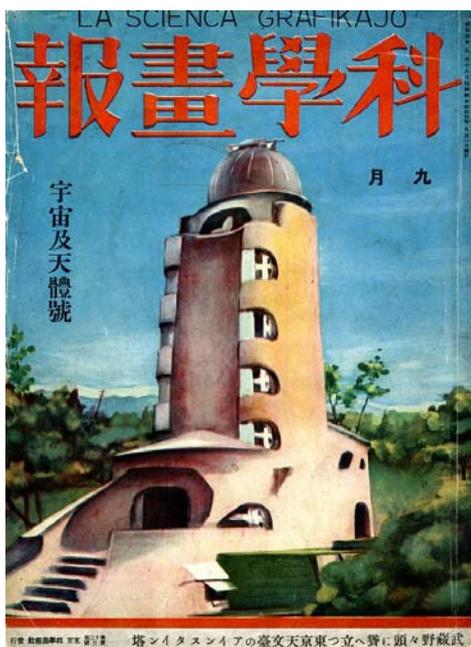


写真1 塔望遠鏡完成予想図

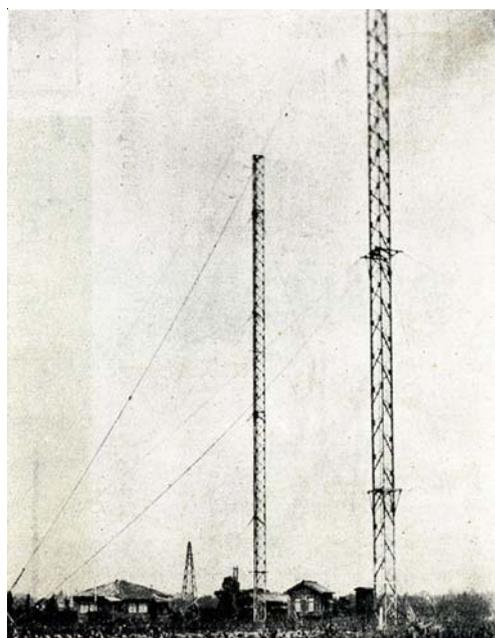


写真2 60m 報時受信アンテナ

・水野良平の「経度緯度の話」の記事、東京天文台の子午儀、天頂儀、60m 報時受信アンテナの写真(写真2)が載っている。

- 3) 子供の科学 昭和6年3月号
  - ・大きなビルの谷間の上空を双発の飛行機が飛んでいる表紙
  - ・「子供の天文学」の記事にブラッシャー天体写真儀が掲載された記事の抜粋
- 4) 科学画報 昭和3年9月号

- ・火星から見た土星のイラストが描かれた表示
- ・この号は「星のロマンス号」とある。
- ・ベルリン大学天文台の 19cm 子午儀で観測している様子の写真（写真 3）



写真 3 ベルリン大学天文台の 19cm 子午儀

5) 科学知識 昭和 10 年 12 月号

- ・東京上空を飛ぶエンジンが見えない飛行機が写っている幾何学模様の表紙
- ・「東京天文台の半日」という東京天文台を橋本昌矣、水野良平の案内で見学した記事のグラビア写真（写真 4）、80 歳の南拜山という方が参加されていることが特筆されている。南拜山と思われる人が写った 26 吋望遠鏡前の写真が写真 5 である。



写真 4 旧本館西の裏庭での会食風景

写真 5 の赤道儀架台の左に立っている人が橋本昌矣である。

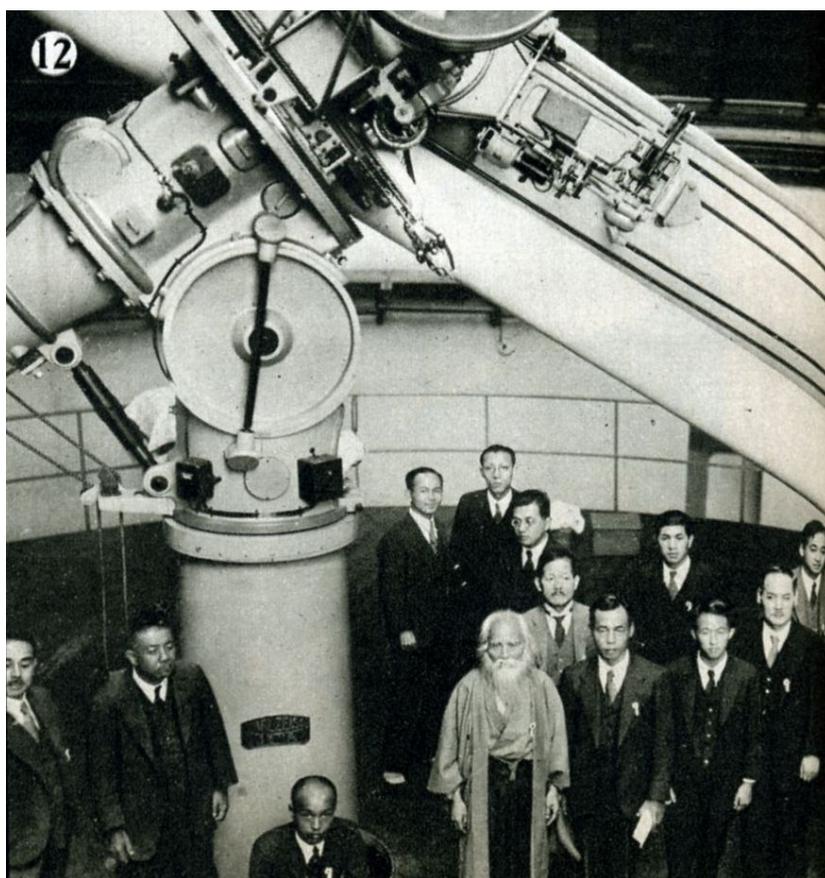


写真5 橋本昌矣に案内された見学者たち

写真2の60m報時信号受信アンテナの写真については、稿を改めて記事にしたい。当時の国際報時所の建物、一等三角点「三鷹村」のやぐらの写真も写っている。この60m鉄塔についてはアーカイブ室新聞で何度も検証を試みている。